

綾

あや

日本共産党

新島村議会議員

綾とおる

ボランティア募集中です

- ポスター掲示
- ビラ・チラシ配布
- 宣伝活動

1日でもお力を貸していただけの方おられましたら、お気軽にご連絡ください。
090-3916-1581 (綾)



村議になってから約4年、みなさんの願いが届く村政へと全力でとりくんでまいりました。台風被害につづくコロナ禍、そして昨今の物価高騰と、島に暮らす私たちを脅かす出来事が続いています。

私は、いまほど政治が役割を果たさなければならぬ時はないと思います。

福祉を切り捨て大軍拡をすすめる悪政に対抗し、人びとの命と暮らしを守るために、みなさんと力をあわせ、引き続きがんばります。

綾とおる プロフィール

1952年生まれ。北海道出身。式根島在住。中央大学卒（通信制）。国鉄（現 JR）入社。2019年から新島村議会議員。電気工事士、クレーン運転士、総合旅行業者取扱管理者、小型船舶一級など各種免許保持。

✓ 学校給食の無償化を実現させたい！

新島村で無償化に必要な額は、一般会計の0.2%以下。教育にかかる負担を軽減し、新島村の未来を担い、地域社会を支える子育て世帯を支援することはとても大切なことだと思います。

9月の議会で村長から前向きな答弁が出てきました。実現に向けてこれからも議会で訴えていきます。

✓ 島外受診助成の年齢制限を撤廃させたい！

村議になる前から訴えてきた島外受診時の助成制度が定着し、村の皆さんから歓迎されています。三大疾病や介助者への適用など改善も図られました。

残された年齢制限の撤廃とさらなる拡充めざし、国や都への働きかけ含め、離島格差解消の重要課題としてとりくんでいきます。

✓ 再生可能エネルギーの活用を新島から！

異常な気候変動をもたらす地球温暖化への対策であると同時に、村にとっては発電所が万一の津波被害に遭った際の電力確保にもつながる差し迫った課題です。村の将来に関わる問題として、若者世代も含めてみんなで考えていきたいと思っています。

くらし、医療、エネルギー
島の願い実現のために
これからもがんばります。

わたしの動画をぜひご覧ください



東京電力新島発電所



CO2を大量排出する火力発電から、太陽光・風力・ヒートポンプなど、地産地消できる再生可能エネルギーの実用化に向け、国や都と連携するよう求めます。

✓ 消費税の減税とインボイス中止を！

暮らしのすべてに重い負担となる消費税は5%に減税、このまま導入されればシルバー人材センターなどに年間1000万円を超える負担となるインボイス制度は中止を求めています。

✓ 国民健康保険税値上げはストップ！

議会では国保税の値上げが可決されました。村の税率計画表では2018～2028年の10年間で所得割を約2倍、均等割を2倍以上に引き上げます。これ以上の負担増は暮らしを壊します。やめるべきです。

国会議員も都議団も

綾とおるさんと力をあわせてがんばります

日本共産党は全党が綱領と規約で団結した派閥のない政党です。国会議員、都議会議員の全員が、綾とおるさんとともに、みなさんの願い実現のために力をあわせてがんばります！



綾とおる History

1 北海道出身です

生まれたのは洞爺湖の近く。その後、炭鉱夫だった父の仕事で夕張へ。

4人兄弟で家計は苦しく、私は中学校卒業後、国鉄に就職しました。

2 国鉄で40年間

鉄道車両の点検・修理を行う室蘭の工場で、貨車などを吊り上げる巨大なクレーンの運転を担当。輸送の安全を支える仕事に誇りを持って働きました。働きながら定時制高校を卒業し、30歳で地元の室蘭工大（夜間）にも合格。

そんな私の人生を一変させたのが国鉄の分割民営化でした。国労組合員だった私は、地元での新会社への採用を拒否され、住み慣れた北海道を離れてJR東日本の職場へ。

3 島との出会い

「組合つぶし」「労働者いじめ」の嵐が吹き荒れるなか、当時、行われていた日本共産党後援会の「船の旅」で訪れた島の自然、人々の優しさに心を打たれました。JRを退職後、妻と移住を決意。式根島に暮らして14年になりました。

4 村議になって

島に来た当初、村議になるとは思っていませんでした。

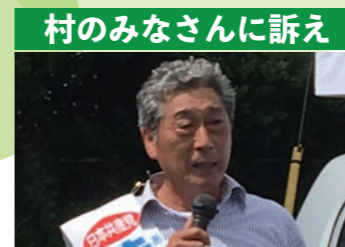
しかし、働く仲間のために力を尽くしてきた自分と、今この村でみなさんのために議員としての勤めを果たす自分にはつながるものがあると思うのです。それは、人々の幸せの中に自分の幸せを見つけるという共産党員としての生き方です。私はこれからもみなさんと力をあわせ、がんばっていきます。



東京都に申し入れ



議会では毎回質問！



村のみなさんに訴え



公園の遊具を改修



台風被害の実態調査

安心してくださる村政めざし

みなさんと、共に。

島の台風被害を訴え、支援を拡充させました

2019年の台風15号の被害で、支援がなされたのは全壊と半壊の家屋のみでした。そこに含まれない「一部損壊」被害に対しても救済するよう議会で求め、大幅に拡充させ、多くの方に喜ばれました。また、公共施設の補修なども積極的に働きかけました。

島外受診の交通費等助成、拡充へ一歩一歩

● 年齢制限をなくしすべての村民を対象とすること、● 付き添いの人も対象にすること、● 「助成の期間」は柔軟に対応すること、● がん疾患などについて助成回数を拡大すること、を何度も議会で訴えて、年齢制限以外は実現させました。まだまだがんばります。

新型コロナ対策強化を求め、PCR 機器を島に

新型コロナウイルス対策強化をもとめ、検査体制の充実やワクチン接種の迅速化、生活支援などの7項目の申し入れを行い、議会でも質問を重ねました。2021年の補正予算でPCR検査機器を2台購入し、本村・式根島診療所に各1台づつ配備されました。

「島のひろば」で 欠かさず議会報告

議員になって4年間、議会のたびに欠かさず、質問や答弁、お知らせなどを「島のひろば」で丁寧に報告しています。議会の様子が良くわかると好評です。

議会で毎回質問 しっかり提案！

住民の願いを実現することが議員としての役割と、毎回議会で質問にたち、台風の被害やふれあいバスの整備といった身近な問題から、再生可能エネルギー導入まで幅広く提案しています。

村のみなさんの 困ったに駆け付け

声がかかれば村のどこにでも。若郷漁港の仮設トイレは利用者の要望に応え、共産党都議団と連携し、「船客待合所の整備を待つことなく設置する」との答弁を得ていたものです。

